

拠出金名: 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構への拠出金

国際機関等名	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンスプログラム推進機構 (英文名称・略称) Human Frontier Science Programme Organization (HFSP/O)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	(その他)		
所轄官庁担当課名	文部科学省科学技術・学術政策局国際交流官付					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	2,104,236	19,666		1\$ = 107 円	(2005年) 55.7	0
平成16年度	2,163,233	19,666		1\$ = 110 円	(2004年) 57.4	0
平成15年度	2,399,222	19,666		1\$ = 122 円	(2003年) 60.2	0
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)			
1位	日本	31,248	55.7	当該年度の収入 122.88百万ドル		
2位	米国	9,500	16.9	当該年度の支出 118.93百万ドル		
3位	EU	4,508	8.0	次年度への繰越 3.95百万ドル		
4位	ドイツ	3,496	6.2	会計検査機関名		
5位	フランス	2,170	3.9	Deloitte & Associe's		
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
本プログラムは、1987年中曽根元首相がヴェネチア・サミットで提唱した国際プロジェクトで、生体を持つ精妙かつ優れた機能の解明に寄与する基礎研究を国際的に共同して推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的としたもので、世界的に高く評価されている。 本プログラムを推進する国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構は、フランス・ストラスブールに設置されており、1990年度から国際共同研究に対する助成事業、フェローシップ事業及びワークショップの開催という3つの支援事業を通じて、世界の科学者の国境を越えた研究活動の支援を行っているところ、提唱国である我が国としても高く評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
本プログラムの運営支援国による政府間会合及び外部評価機関により定期的に本プログラムの評価が行われている。これらの評価結果に基づき、これまで財政基盤の強化など機能強化が図られてきており、提唱国である我が国としても積極的に支援している。 なお、2001年に行われた外部評価機関による総合評価においては、本プログラムが大陸間的で、学際的な研究に対する比類のない支援の資源であること、本プログラムの出版物は、水準以上によく引用されていることなど非常に肯定的であった。現在、2007年までに第3回目の外部評価を行うべく作業が進められている。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 1 人	当該機関の職員数及び邦人職員が職員全体にしめる率		14 人 14.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
事務局次長		下村 和生		文部科学省から出向		
評議員会会長*		伊藤 正男		理化学研究所		
* 職員には該当しないが、評議員会はHFSP運営全般に責任を有する重要な組織。						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
引き続き邦人職員を送ることを計画中。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

拠出率については経済産業省分を含めた率。

我が国からの拠出額(うち経済産業省拠出額)は次の通り

平成17年度:31,248千ドル(うち11,582千ドル)、平成16年度:31,248千ドル(うち11,582千ドル)

平成15年度:31,248千ドル(うち11,582千ドル)。